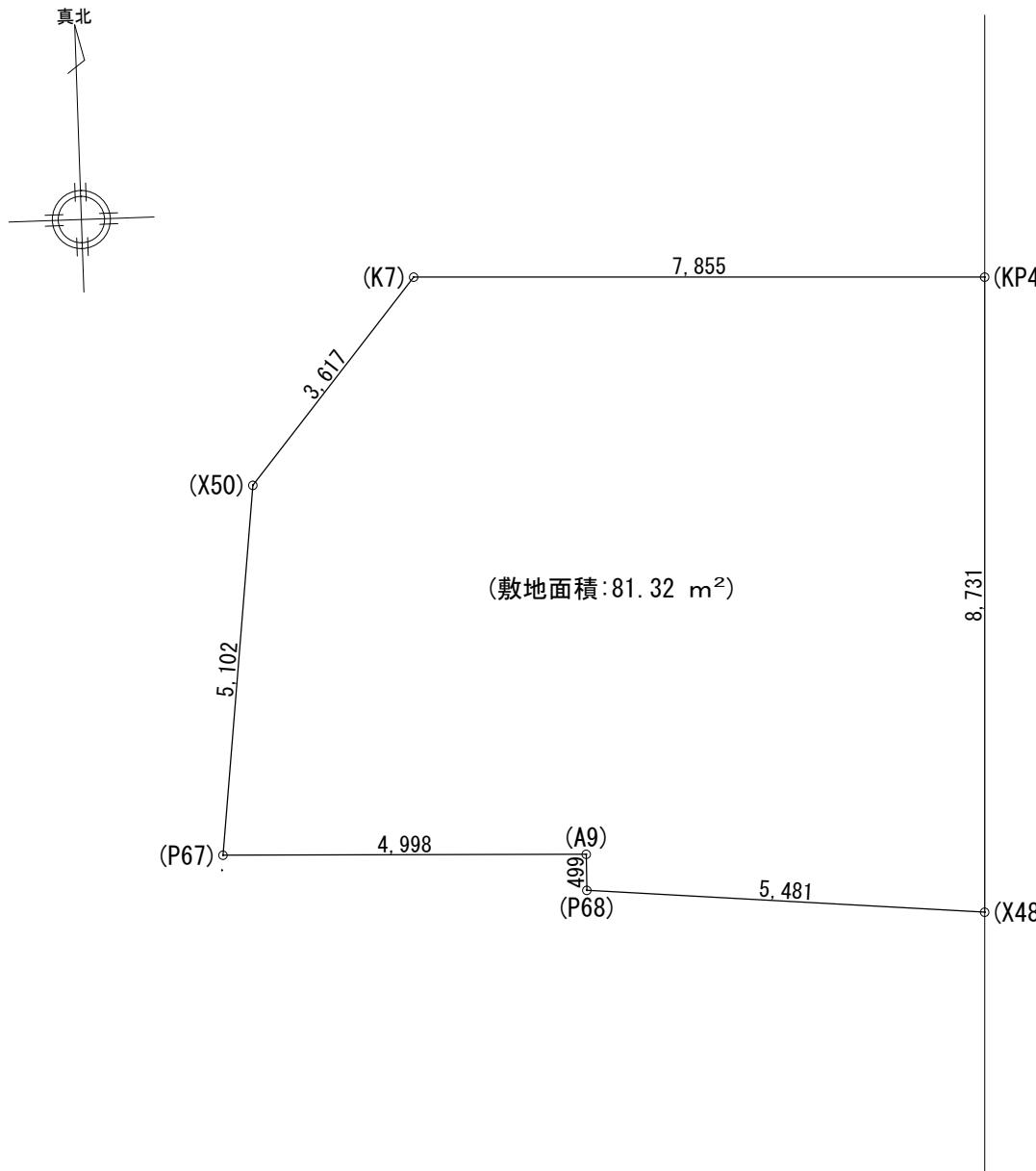


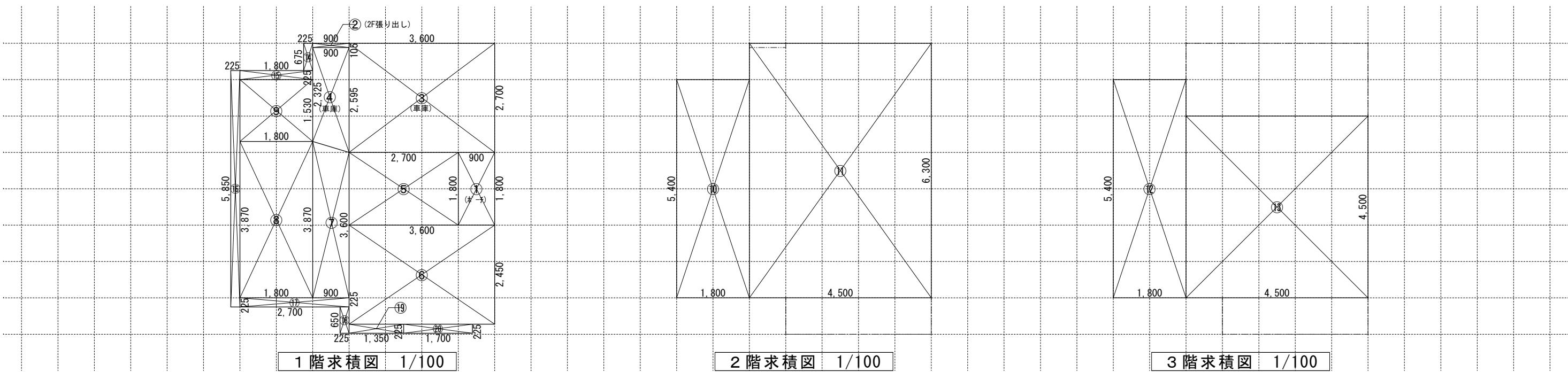
凡例（注記）

- 敷地境界線上の丸は、RC杭、石杭、金属標、金属鉢等を示す
--- 屋根先端の点線は、雨樋を示す(屋根先端+100)
給水経路、排水経路は、設備図による
隣地斜線制限:斜線立て上り高さ31M(建物高さ:9.621M)
各部分の高さ表示は、地盤面±0(設計GL±0)からの高さ
延焼線の表示は、平面図による

[記載以外の門、塀等の外構なし]
[建築基準法施行令第130条の12に適合]
[敷地内のC B塀は、建築基準法施行令第62条の8に適合]
[盛土規制法に係る盛土、切土なし]
[西側、南側、北側、高低差の安全対策:安息角に達する防護壁]

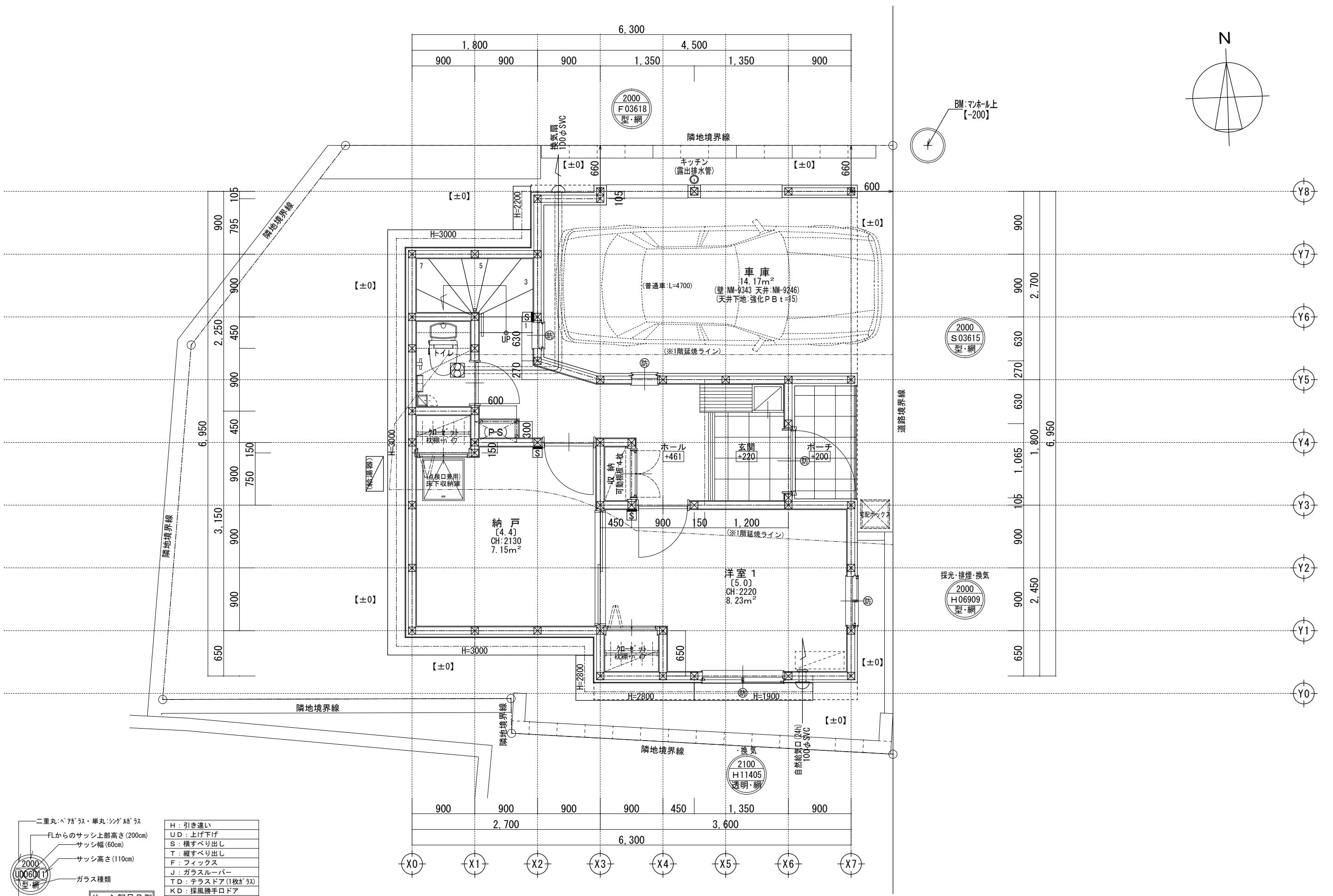


敷地面積求積表				
	Xn	Yn	Y _{n+1} -Y _{n-1}	X _{n+1} -X _{n-1}
P67	395.834	459.194	-3.128	-1238.168752
X50	400.643	460.899	4.580	1834.944940
K7	402.838	463.774	10.465	4215.699670
KP4	400.816	471.364	5.343	2141.559888
X48	392.379	469.117	-7.458	-2926.362582
P68	394.077	463.906	-5.090	-2005.851930
A9	394.561	464.027	-4.712	-1859.171432
倍面積				162.649802
敷地面積 (m ²)				81.32 m ²



【床面積求積算定式】	(14) $0.225 \times 0.675 = 0.1518$	(1) $0.900 \times 1.800 = 1.6200$	(5) $2.700 \times 1.800 = 4.8600$	(10) $1.800 \times 5.400 = 9.7200$	(12) $1.800 \times 5.400 = 9.7200$
	(15) $1.800 \times 0.225 = 0.4050$	(2) $0.900 \times 0.105 = 0.0945$	(6) $3.600 \times 2.450 = 8.8200$	(11) $4.500 \times 6.300 = 28.3500$	(13) $4.500 \times 4.500 = 20.2500$
	(16) $0.225 \times 5.850 = 1.3162$	(3) $3.600 \times 2.700 = 9.7200$	(7) $(3.870+3.600) \times 0.900 \times 0.5 = 3.3615$		
	(17) $2.700 \times 0.225 = 0.6075$	(4) $(2.595+2.325) \times 0.900 \times 0.5 = 2.2140$	(8) $1.800 \times 3.870 = 6.9660$		
	(18) $0.225 \times 0.650 = 0.1462$		(9) $1.800 \times 1.530 = 2.7540$		
※(19)	$1.350 \times 0.225 = 0.3037$				
	(20) $1.700 \times 0.225 = 0.3825$				

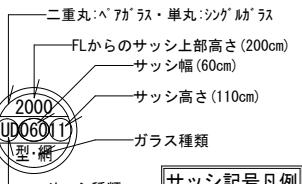
《建物概要》		《凡例》		《準耐火構造の仕様一覧表》		《面積表》	
東京都 板橋区 前野町5丁目6番1、6番2	防	防火設備:国土交通大臣認定品		屋根/30分 (パルコニー/30分) (告示1358号)	(外側)屋根:無石綿スレート板葺 (不燃:NM-2093) (外側)パルコニー:FRP防水 (DR-1553又はDR-0259) ※FRP防水施工下地:石膏スラグ板t=12 + 構造用合板t=12 (内側)強化石膏ボードt=15	敷地面積	81.32 m ² 24.59 T
用途地域:第一種中高層住居専用地域	150φFD	給気口 150φ FD (設置高さ:中心FL+400)		外壁/45分	(外側)防火サイン t=14 (準耐火:QF045BE-9226) (内側)石膏ボードt=15	建築面積	43.72 m ² 13.22 T ①~⑨ + ⑯~⑳
建ぺい率:指定 60% (準耐火構造:70%)	100φSVC (150φFD)	換気扇 100φ SVC (換気扇 150φ FD)		軒裏/45分	繊維混入けい酸カルシム板 t=14 (準耐火:QF045RS-0084)	1階床面積	38.99 m ² 11.79 T ③~⑨ + ⑯
容積率:指定 200%	100φSVC (150φFD)	埋込み型ダクト換気扇 100φ SVC (埋込み型ダクト換気扇 150φ FD)		間仕切壁/45分	両面石膏ボードt=15 (45分準耐火告示仕様)	(1階容積対象床面積)	27.06 m ² 8.18 T ⑤~⑨ + ⑯
防火指定:準防火地域		給湯器		床(洋室)/45分 (告示1358号)	(表側)構造用合板t=24 + フローリングt=12 (裏側)強化石膏ボードt=15 (不燃:NM-8615)	2階床面積	38.07 m ² 11.51 T ⑩~⑪
高度地区:第2種高度地区 (最高限度:22m)	自然給気口(24h)100φSVC	24時間換気用自然給気口 100φSVC (設置高さ:FL+1600以上)		床(和室)/45分 (告示1358号)	(表側)置t=55 + 石膏ボードt=9 + 構造用合板t=24 (裏側)強化石膏ボードt=15 (不燃:NM-8615)	3階床面積	29.97 m ² 9.06 T ⑫~⑬
日影規制:3.0h・2.0h (+4.0M)	排気ファン(24h)100φSVC	24時間換気用排気ファン 100φSVC (風量: 7.0 m ³ /h 以上)		梁/45分 (告示1358号)	強化石膏ボードt=15 (不燃:NM-8615)	延床面積	107.03 m ² 32.37 T ③~⑬ + ⑯
《階段概要》	S 天井設置 S 壁設置	煙感知式自動火災警報器(電池式)		階段/30分 (告示1358号)	(階段材)踏み板:集成材t=30 側板:集成材t=30 (段板裏側)強化石膏ボードt=15 (側板外,屋内側)石膏ボードt=15 (側板外,屋外側)防火サイン t=14 (準耐火:QF045BE-9226)	容積率対象床面積	95.10 m ² 28.76 T ⑤~⑬ + ⑯
1階~2階:踏面 225.00 mm 跡上 217.50 mm 有効幅 765 mm	H 天井設置	熱感知式自動火災警報器(電池式)			※防火被覆/取合部・目地部ハ内部ハ炎進入防止トシ 表面ニ当木ヲ設ケ防火被覆ガ有効機能スル構造トス		
2階~3階:踏面 225.00 mm 跡上 212.30 mm 有効幅 765 mm	内装制限 LDK・階段室	L DK壁:石膏ボードt=15mm/上ビニールクロップt=2mm 天井,壁:強化石膏ボードt=15mm/上ビニールクロップt=2mm				車庫等面積検討: 107.03 m ² ÷ 5 = 21.40 m ² ≥ 11.93 m ² … 容積不算入	
※廻り階段ハ、内法300mmから踏面150mm以上トス。 ※手摺/設置ニヨリ階段有効幅が確保デサイ場合ハ、 手摺幅7100mm以下トス。	ボーチ・バルコニー (天井下地:強化PBt=15)	天井:繊維混入けい酸カルシム板 t=14 (準耐火:QF045RS-0084) 壁:防火サイン t=14 (防火:QF045BE-9226)					
	車庫	天井:繊維混入けい酸カルシム板 t=14 (準耐火:QF045RS-0084) 壁:防火サイン t=14 (防火:QF045BE-9226)					
	(防火区画を貫通する100φ以上の給気管、排気管は、不燃材とする) (アスベスト、クロルビリホスは使用しない)						
換気棟 有効排気面積: 2P(1800)=0.024m ² 1P(900)=0.012m ² 軒先換気: 有効面積 = 0.007m ² (1P=900) 梱トコ:軒先換気 軒裏換気: 有効面積 = 0.014m ² (1P=900) 神島化学工業㈱:ABK45 壁付換気: 有効面積 = 0.0170m ² 150φFD付き	内装制限 (キッキン)	カスコンロ廻リニ関シテ:壁ヨリコンロ150mm以上離入 レンジ: フード:スチール製 t=0.5mm 以上 スチール製ハーフト:ヨリコンロ800mm以上離入 天井:強化石膏ボードt=15mm 壁:石膏ボードt=15mm/上不燃ハ 別t=3mm		L DK	必要採光面積 25.92 ÷ 7 = 3.702 有効採光面積 (1.60 × 0.90 × 3.0) = 4.320 必要排煙面積 25.92 ÷ 50 = 0.518 有効排煙面積 (1.86 × 0.480 ÷ 2) + (1.60 × 0.430 ÷ 2) = 0.790 必要換気面積 25.92 ÷ 20 = 1.296 有効換気面積 (1.86 × 1.80 ÷ 2) = 1.674	洋室 3	必要採光面積 7.42 ÷ 7 = 1.060 有効採光面積 (1.14 × 0.90) × 3.0 = 3.078 必要排煙面積 7.42 ÷ 50 = 0.148 有効排煙面積 (1.14 × 0.390 ÷ 2) = 0.222 必要換気面積 7.42 ÷ 20 = 0.371 有効換気面積 (1.14 × 0.90 ÷ 2) = 0.513
(主屋根) 必要排気面積 29.97 ÷ 1600 = 0.0187 有効排気面積 0.012 × 3 = 0.0360 必要吸気面積 29.97 ÷ 900 = 0.0333 有効吸気面積 0.007 × 7 = 0.0490	キッチン換気扇必要換気量	レンジ: フード:スチール製 t=0.5mm 以上 スチール製ハーフト:ヨリコンロ800mm以上離入 V = 30 × K × Q V = 30 × 0.93 × 9.80 = 273.42m ³ /h < 590m ³ /h OK		洋室 1	必要採光面積 8.23 ÷ 7 = 1.175 有効採光面積 (0.69 × 0.90) × 3.0 = 1.863 必要排煙面積 8.23 ÷ 50 = 0.164 有効排煙面積 (0.69 × 0.580 ÷ 2) = 0.200 必要換気面積 8.23 ÷ 20 = 0.411 有効換気面積 (0.69 × 0.90 ÷ 2) + (1.14 × 0.50 ÷ 2) = 0.595		
(下屋根) 必要吸気排気 8.10 ÷ 250 = 0.0324 有効吸気排気 (0.007 × 5) = 0.0350				洋室 2	必要採光面積 13.36 ÷ 7 = 1.908 有効採光面積 (1.60 × 0.90) × 3.0 = 4.320 必要排煙面積 13.36 ÷ 50 = 0.267 有効排煙面積 (1.60 × 0.340 ÷ 2) = 0.272 必要換気面積 13.36 ÷ 20 = 0.668 有効換気面積 (1.60 × 0.90 ÷ 2) = 0.720		
		《平均地盤面算定》					



※サッシ記号の幅・高さ寸法は内法です。

※各居室から直通階段までの最長歩行距離は、50m以内

※水道メーター蓋色:ホワイト ※散水栓蓋色:ブラック ※排水管は露出配管 ※24時間給気口設置高さ:1700 ※シャッター雨戸は全て手動 ※1階床構造用合板 24mm ※1階外壁面は全て延焼ライン内



一級建築士事務所
~LIFE CORE~

想建設計
一級建築士 第23487号 荷川取 武正

設計年月日

承認

設計

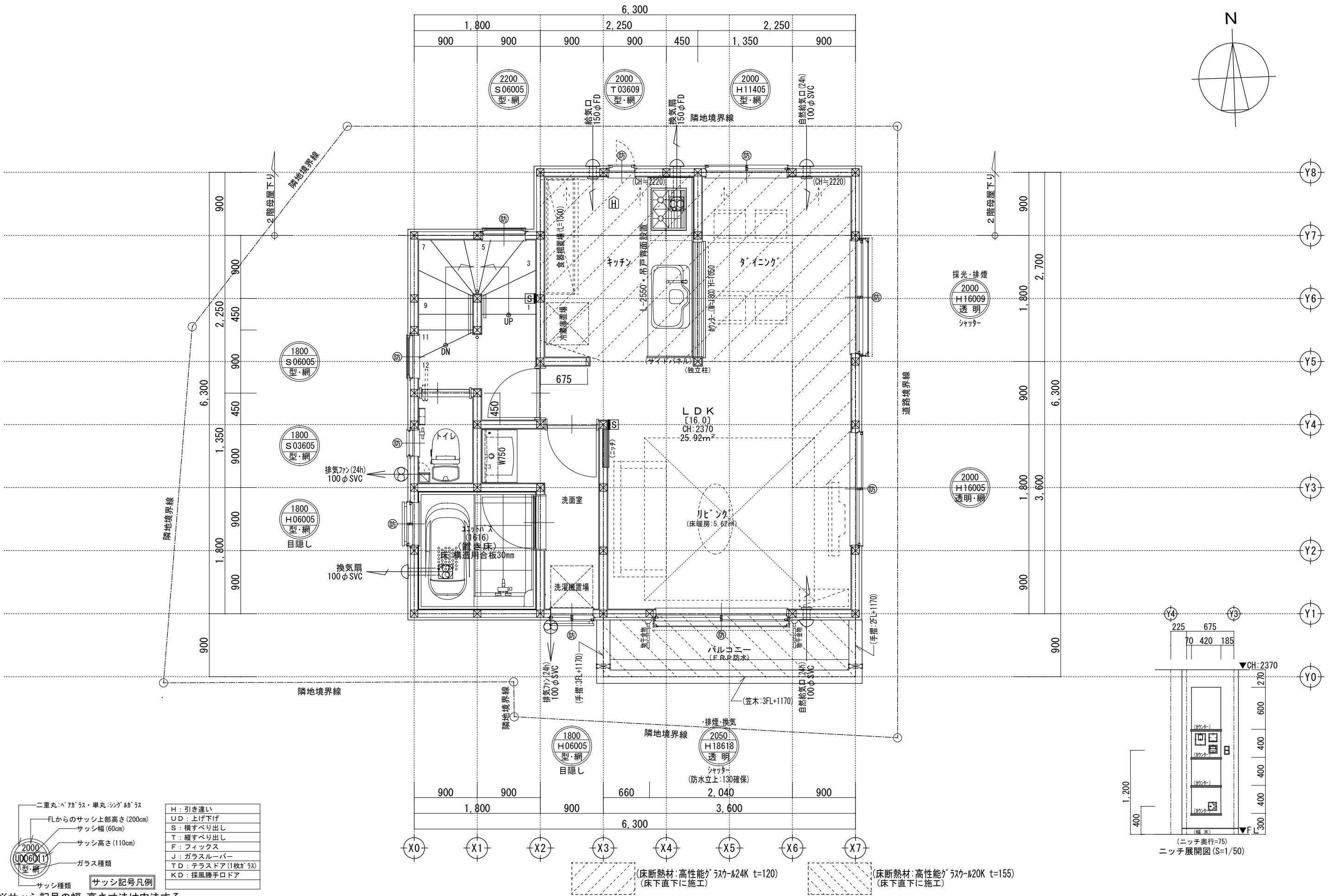
担当

工事名称
スマイルファミリー 旭町3丁目 A号棟 新築工事

図面名称
1階平面図

縮尺
1/50

No.



※サッシ記号の幅・高さ寸法は内法です。

※各居室から直通階段までの最長歩行距離は、50m以内

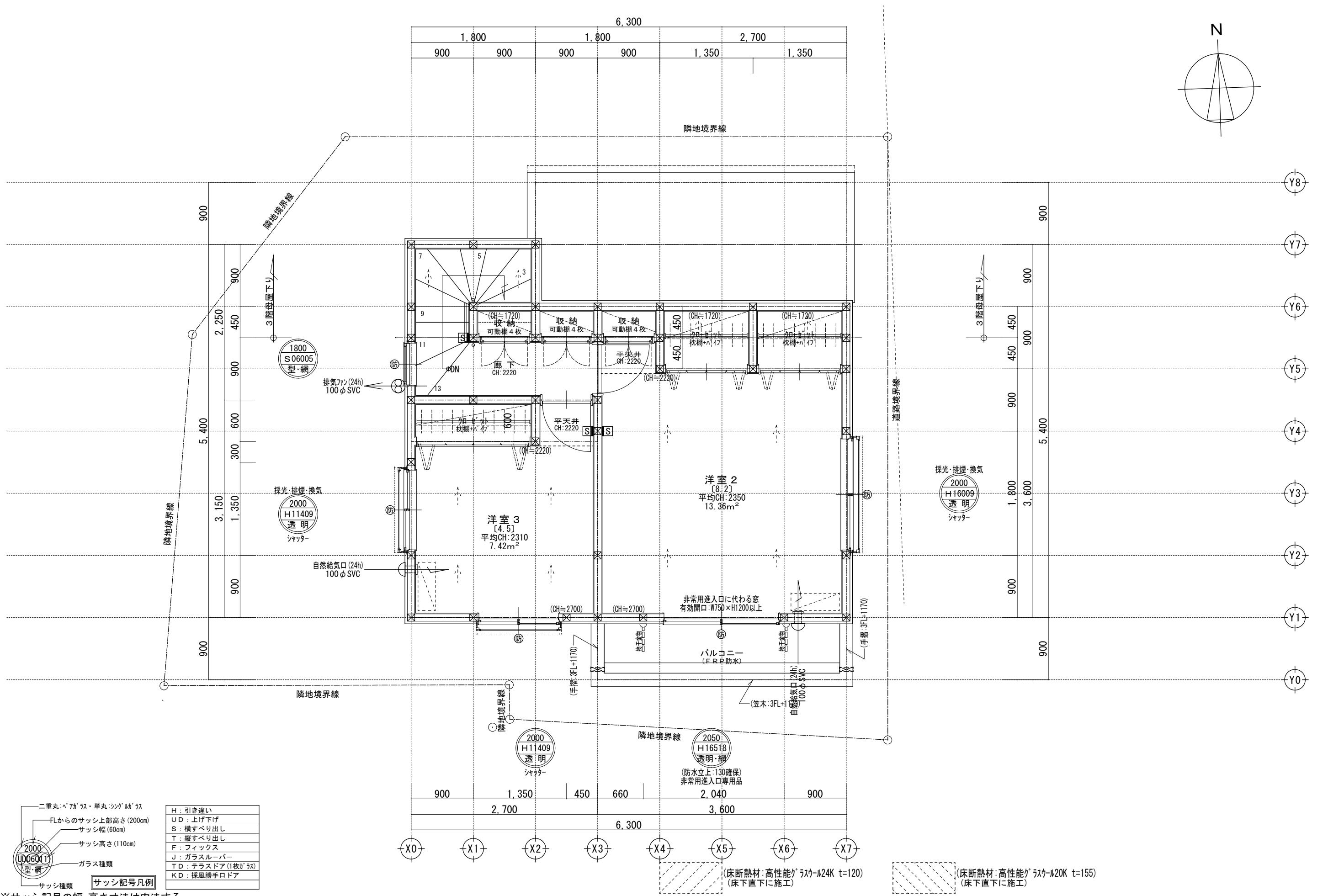
※排水管は露出配管

※24時間給気口設置高さ:1700

※シャッター雨戸は全て手動

※2階床構造用合板 30mm

※2階外壁面は全て延焼ライン内



※サッシ記号の幅・高さ寸法は内法する。
※各日本仕様車通路寸法の最長進行距離

※各居室から直通階段までの最長歩行距離は、50m以内

一級建築士事務所

心 建 設 司
一級建築士 第234878号 萩川取 武正

設計年

10

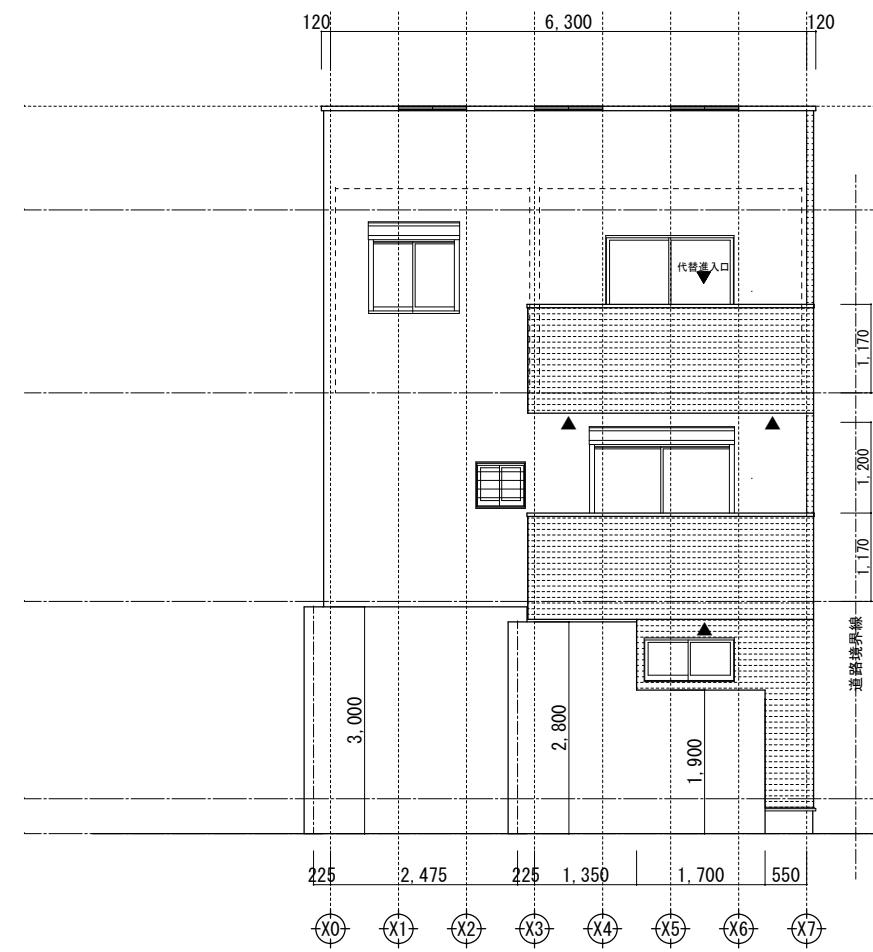
1000

担当

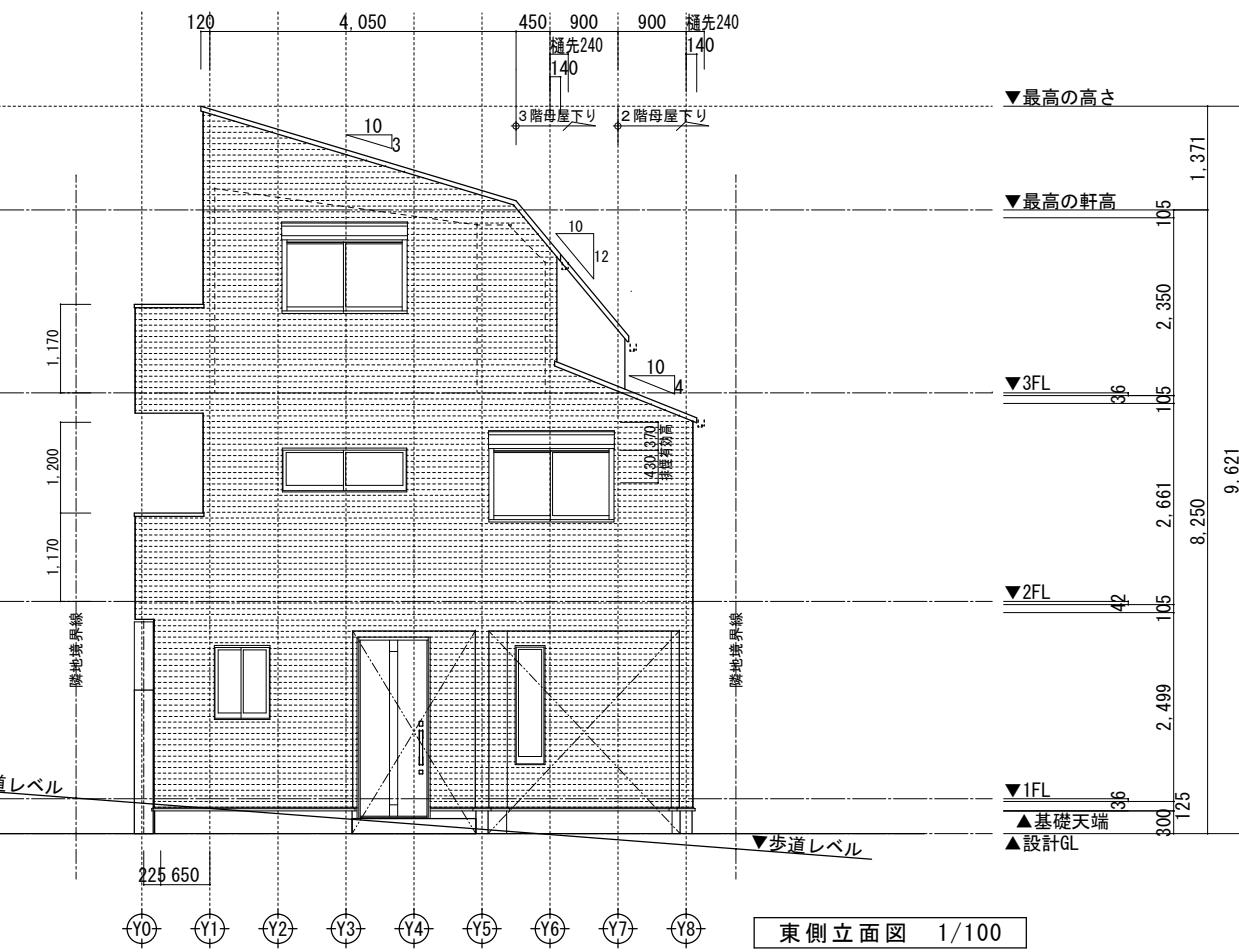
工事名称
スマイルファミリー 旭町3丁目 A号棟 新築工事

Digitized by srujanika@gmail.com

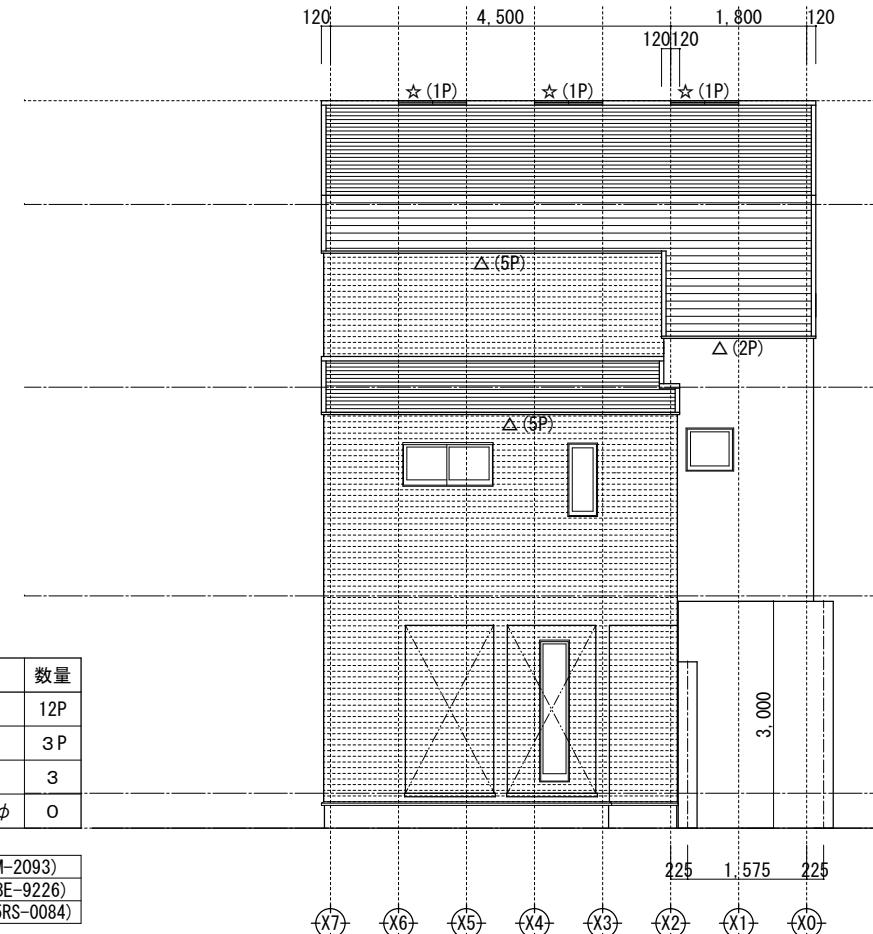
図面名称 3階平面図	縮尺 1/50	No.
---------------	------------	-----



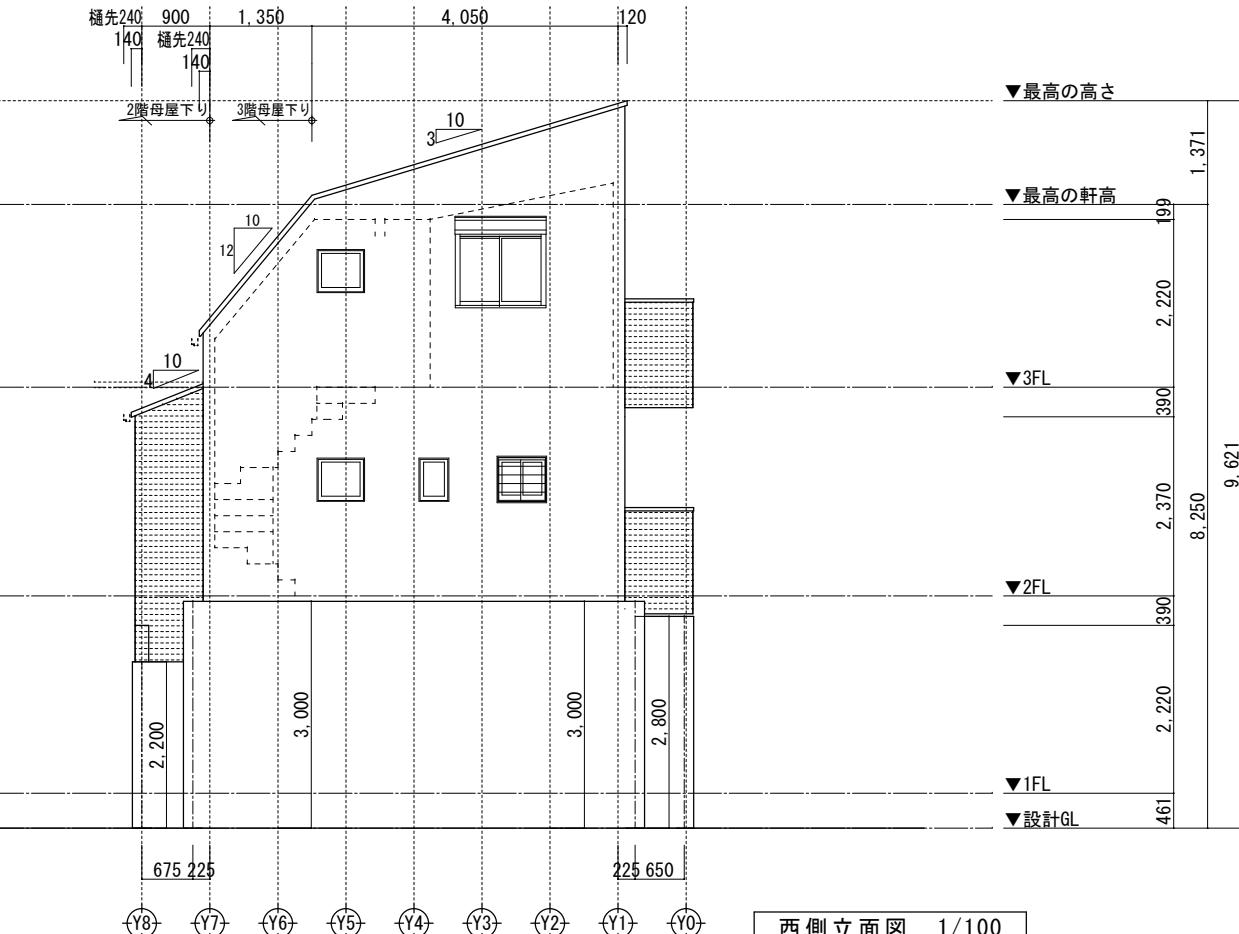
南側立面図 1/100



東側立面図 1/100



北側立面図 1/100

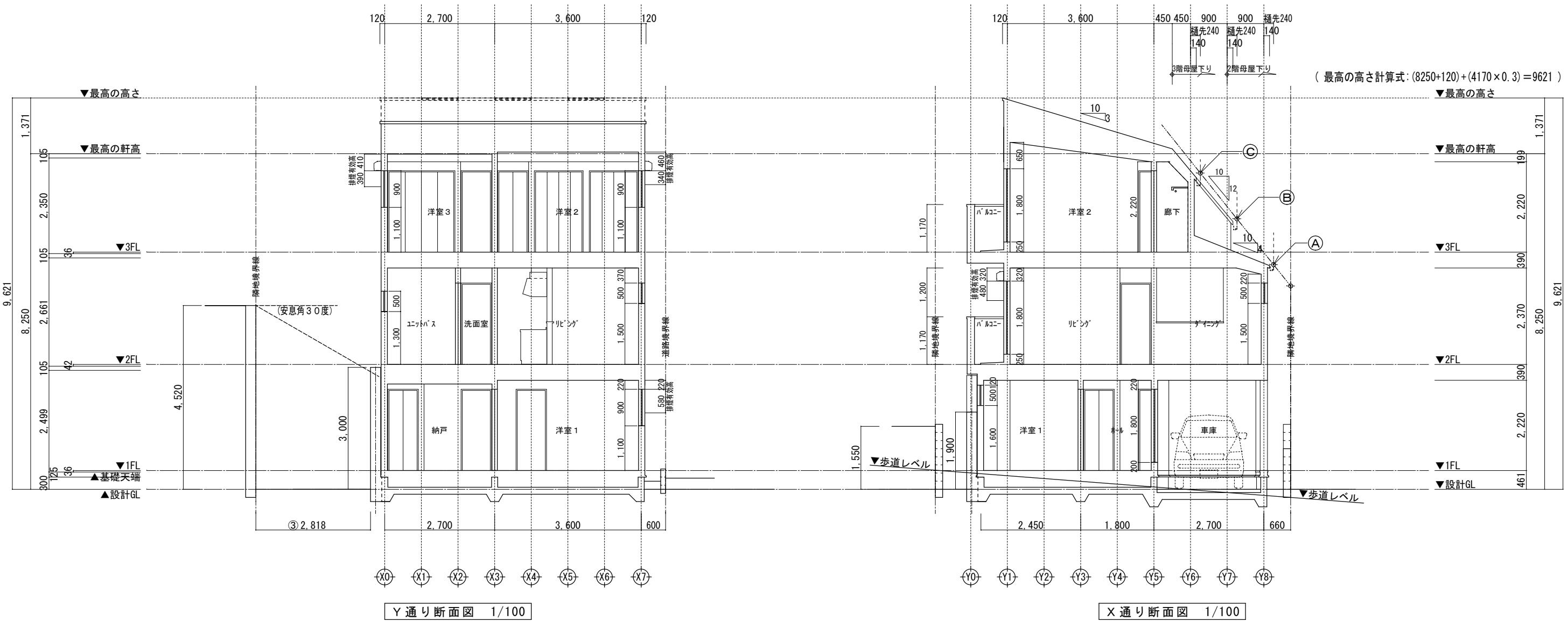


西側立面図 1/100

小屋裏換気凡例	数量
△ 軒ゼロ換気:1P=900	12P
☆ 棟換気:1P=900	3P
▲ 軒裏換気:ABK45	3
◎ 壁付換気ガラリ:150φ	0

【屋根】無石綿スレート板葺き (NM-2093)
【外壁】防火サ行 イン (QF045BE-9226)
【軒裏】繊維混入ケイガ板 (QF045RS-0084)

※軒の出寸法表示には、雨樋の出寸法100mmは含まない。
※雨樋(横樋)の取り付け位置は、屋根勾配の延長線以下とする。
※最高の軒高さから上の小屋組は、束立てとする。



高度斜線 A

$$\text{地盤面からの斜線制限 } (420 \times 1.25) + 5000 = 5525.00$$

$$\text{設計GLからの樋先高} \quad (8250-105-2350+120) - (1140 \times 0.4) = 5459.00$$

タリヤン : 66.00 mmOK

高度斜線 B

$$\text{地盤面からの斜線制限 } (1321 \times 1.25) + 5000 = 6651.25$$

$$\text{設計GI からの樋先高} \quad (8250+200)-(1590 \times 1.20) = 6542.00$$

クリアランス・109.25 mm ……OK

※斜線検討ポイントは、配置図による。

※雨樋先端寸法は 壁芯から240mm-

※軒の出寸法表示には、雨樋の出寸法100mmは含まない。

※雨樋(横樋)の取り付けは、屋根勾配の延長線上に下とする。

※最高の軒高さからの小屋組は、東立てとする

木最高の軒高さから上の小屋組は、束立てとする。

高度斜線 C

$$\text{設計外からの樋先高 } (2221 \times 1.25) + 5000 = 7776.25$$

地盤面からの斜線制限 $(8250+200) - (600 \times 1.20) = 7732.00$

100+200)-(090×1.20)=1022.00
